

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



ゴール目指して力走 (2月5日 成羽中学校スタート/ゴール)

歴史と文化のまち成羽を舞台にして「第19回体力づくり なりわ健康マラソン」が開かれました。町並みコース(3km)と神楽コース(5km)に約300人が出場。招待選手として昨年の全国高校駅伝1区区間賞を獲得し、興譲館高校(井原市)を全国優勝に導いた、同校の新谷仁美さんが出場。ゴール後には、新谷さんのサインを求める長蛇の列ができていました。



招待選手の新谷さん(右)からサインをもらう参加者(左)

手づくりのたこ揚げ大会 (2月5日 神原スポーツ公園)

松原っ子を育てる会と松原学園PTAの主催で、「マラソン・たこ揚げ大会」が行われました。毎年恒例行事で14回目。たこは、子どもたちの手づくり。連だこやアニメのキャラクターの絵を書いたもの、虫の形にデザインしたものなど独創的なものばかりでした。北風が吹く寒空の中、子どもたちは、元気いっぱい楽しんでいました。



声を合わせてジャンプ!ジャンプ! (1月15日 市民体育館)

高梁ライオンズクラブの主催で第18回体力づくり「なわとび大会」が開かれました。市内の小学校から団体(8人1組で13チームが出場)・個人戦の部に合わせて約200人が参加。

子どもたちは、保護者や学校関係者らの声援を受け、1回でも多く跳ぼうと必死でした。





決意を新たに 消防出初式

(1月15日 高梁総合文化会館)

高梁市消防出初式が、厳粛かつ盛大に、挙行されました。式典には、関係者約900人が出席し、消防長式辞や市長告辞、団長訓示が行われ、永年にわたり消防業務に功績のあった消防団員等の表彰がありました。

その後、ききょう河原(落合町近似)に消防ポンプ車25台を集め、5方面隊24分団により一斉放水訓練を行いました。



“人生”いつもありがとう

(2月5日 有漢生涯学習センター)

高梁市教育委員会の主催で、「第12回高梁市うかん生涯学習推進大会」が開かれました。

元NHKアナウンサーで現在歌手の吉川精一さんが「人生いつもありがとう」の演題で講演。会場を訪れた約300人は、吉川さんの豊富な人生経験の話に耳を傾けていました。またセンター研修室では、読み聞かせや人形劇などがあり子どもたちは大喜びでした。



ゆらら70万人突破

(1月15日 朝霧温泉ゆらら)

市健康増進施設「朝霧温泉ゆらら」の入館者が70万人を突破し、記念セレモニーが行われました。70万人目は井原市から来館した、坂本晴彦さんご家族。朝霧温泉ゆららから花束と記念品が贈られました。開館から5年2ヶ月の達成で、目標より約半年早い70万人突破。砂風呂やプールなどが人気のおようです。

残せ伝統行事!「とんど祭」

(1月14日 川上小学校)

かわかみ子育て応援団と川上小学校PTAは、地域に残る伝統行事「とんど祭」を開きました。

あいにくの雨の中、参加した児童や保護者、地域住民ら約300人は、持ち寄ったお飾りや書き初めなどを火に入れ、無病息災を願い、厄払いを行いました。体育館では、豚汁のサービスや福引大会もあり互いに交流を深めていました。



花のある生活を

(1月29日 高梁総合文化会館)

第4回高梁市文化講演会が開かれ、華道家の假屋崎省吾さんが「花は心のビタミン～花から始まるライフスタイル～」と題して講演しました。

会場にはクラシック音楽が流れ、ゆったりとした雰囲気の中で、来場者約750人は、假屋崎さんが生ける花と話を見聞きしていました。

仲間と力を合わせて(1月29日 備中中学校)

教育委員会備中分室の主催で、毎年恒例の綱引き・縄跳び大会が開かれました。参加者は地域の仲間やスポーツ少年団などチーム構成はさまざま。綱引きは8人1組で3部門に14チーム、長縄跳びには、10人1組で16チームが参加。

会場は、選手の掛け声と家族や友人の声援で大変盛り上がりしました。

